

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

Purpose

データ活用の促進を通じて持続可能な未来をつくる

連結売上高  
140億円超

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 生成AI活用による生産性改革

生成AI技術を業務に適用し、プロフェッショナル人材の業務効率を向上。内製化支援モデルの洗練と高度化に注力

## 3. M&amp;Aによる非連続成長

アクティブコア子会社化に続く新規M&A推進。2026年6月期の連結売上高140億円超達成を目指す

## 2. 新プロダクトの早期収益化

Rtoaster GenAIの収益化とAIエージェント事業の立ち上げ。デジタルマーケティング市場の成熟に対応した成長の柱確立

## 4. 高利益体質への転換

組織拡大による成長から利益重視マネジメントへ転換。売上成長以上のEBITDAマージン向上を重視

## ③ 対処すべき課題

## ① 国際競争力の強化

- ・日本が世界デジタル競争力ランキングでデジタルスキル62位、ビッグデータ活用63位という現状を改善
- ・IT人材やデータ活用人材の不足とリスクリリング課題に対応
- ・企業DXの高度化・高速化を支援し日本の内なる力向上

## ② プロダクト事業の成長加速

- ・デジタルマーケティング市場の成熟に伴う売上拡大ペースの鈍化に対応
- ・Rtoaster GenAIとAIエージェント事業を新たな成長の柱に確立

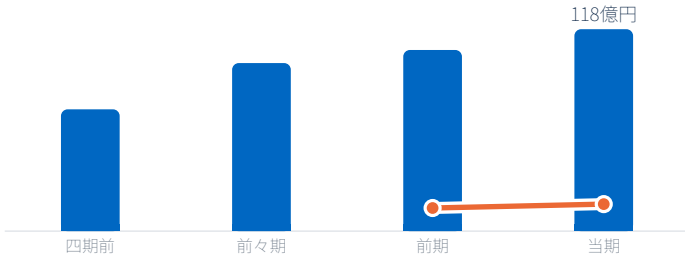
## ③ 経営モデルの刷新

- ・急速な事業拡大体制から環境変化に対応できる高利益体質への転換
- ・構造改革期における組織体制の効率化と機動性確保

## 面接で使えるポイント

- ・IMDランキングで日本がデジタルスキル62位、ビッグデータ活用63位という課題解決に向けた具体的な取り組み
- ・2026年6月期の連結売上高140億円超達成に向けた3か年の中期経営計画と構造改革の内容
- ・生成AI技術やAIエージェント事業などの新プロダクトで企業DX高度化に貢献する戦略

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
118億円営業利益率  
13.4%財務健康度  
86点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 59.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
761万円平均年齢  
35.2歳平均勤続  
4.0年女性管理職  
12.4%男性育休  
83.3%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

